



3年ぶりに開催！文京区防災フェスタに参加



自衛隊東京地方協力本部台東出張所（所長 荒木3陸佐）は12月4日、文京区教育の森公園及び文京スポーツセンターで開催された「令和4年度防災フェスタ」において、第1普通科連隊の支援を受けて広報活動を実施した。

本防災訓練は、災害が起きた時に区と区民並びに防災関係機関が協力して防災対策活動を行えるように文京区が主催している事業で、今回は3年ぶりに開催された。

当日は、文京区が実施した防災行政無線での訓練放送による区民の一斉避難訓練から開始され、その後、観覧型訓練として初期消火訓練、倒壊家屋からの救出・救助、高所建物からの救出・緊急脱出、一斉放水等が行われている中、台東所が設置した広報ブースにおいて災害派遣及び広報パネルの展示、VR視聴、迷彩服試着及び高機動車の体験乗車等を行った。

多くの家族連れが、災害派遣パネルの前で足を止め、当時の災害について振り返るとともに、陸海空自衛隊の種目紹介パネルを見て、職域の広さに驚いていた。また、迷彩服を試着した子供たちは、東京地本のマスコットキャラクター「トウチ君」と記念写真を撮る等、イベント開始から終了まで盛況で自衛隊に対する理解の促進が図れた。

台東出張所では、今後も地域に密着した募集・広報活動を各自治体、部隊等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋げるとしている。

協力団体の部隊見学による現状理解の促進と関係醸成



自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は12月9日、東京地方協力本部友の会及び女性協力会の会員13名に対し、練馬駐屯地において部隊見学を実施した。

当日は、集合時の体温チェックと、健康状態の確認をおこない、移動のマイクロバス内も乗車人数を制限し、感染予防を万全にしたうえで、部隊見学に向かった。

練馬駐屯地では、駐屯地広報による概要説明の後、記念撮影、施設見学について史料館の案内を受けた。また、昼食は駐屯地食堂での体験喫食を行い、隊員と同じ食事の量に驚きながらも舌鼓を打っていた。午後からは第1普通科連隊による装備品展示と指揮通信車の体験搭乗を行い、見学者からは、説明を行う隊員に装備品だけでなく、勤務環境や生活環境について多くの質問がなされ、部隊や隊員の現状についてご理解をいただいた。

コロナ禍で希薄となりがちであった、協力団体の方々との関係は、部隊見学や交流の機会などで対面し相互に会話することにより醸成されるものであり、これら協力団体からの情報提供や様々な応援は今後の地本の任務達成に不可欠であることから、東京地本では、今後もコロナ禍で活動できなかった対面型の広報活動を再開し、防衛省・自衛隊の活動に理解を深めていただけるよう努力を重ねていくとしている。

